

Title	三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	2015
Jtitle	哲學 No.135 (2015. 3) ,p.187- 190
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000135-0187

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田哲学会行事報告

〈三田哲学会 2014年度総会 議事録〉

日 時：2014年6月18日（水）12:15～14:45

場 所：三田・研究室棟1階 研究室会議室

出席者：坂上貴之、斎藤慶典、李光鎬、稲葉昭英、後藤文子、山梨あや、寺澤悠理、奈良雅俊、荒畑靖宏、岡田光弘、納富信留、上枝美典、柏端達也、伊澤栄一

議 題

1. 2014-2015年度役員
以下の役員体制が承認された。全員が主務と副務を担当する（カッコ内は専攻と副務）。
会長：坂上貴之（心理学）、幹事長：斎藤慶典（哲学、総務）、庶務：稲葉昭英（人間科学、会計）、会計：後藤文子（美美、庶務）、編集：奈良雅俊（倫理学、企画）、総務：山梨あや（教育学、企画）、企画：寺澤悠理（心理学、編集）、会計監査：李光鎬（社会学）
2. 2013年度決算
2013年度決算報告、会計監査報告について会計幹事から説明があり、承認された。
3. 2014年度予算
2014年度予算案が承認された。
塾からの補助金の一部を監査関連費（監査事務、監査業務補助など）にあてることが承認された。今年度は幹事への謝金を支出せず、業務負担を軽くする手段を講じる。
4. 機関誌『哲学』の編集・発行
次号発行部数を変更することが承認された。今後、段階的な発行部数の縮小を検討する。
5. 講演会補助の運用方法
補助申請回数は現状どおり年6回のみとする。ただし、懇親会費は支給しない。講演会補助費を全体として抑えるため、執行状況を確認したうえで、必要に応じて調整を検討する。
6. その他
昨年度の会員への処分は今年度もそのまま継続する。

〈MIPS（三田哲学会哲学・倫理学部門）2014年度例会〉

日 時：2014年10月25日（土）11:00～18:00

場 所：三田キャンパス 西校舎512番教室

研究報告

ニュッサのグレゴリオスにおける神と人

武富香織君（文学研究科博士課程）

ドゥルーズ哲学の原風景 —サルトルという自由—

戸澤幸作君（文学研究科博士課程）

ハイデガーは实在論者か観念論者か

金成祐人君（文学部助教・非常勤講師）

私の二様の在り方

福田敦史君（文学部非常勤講師）

汎心論と物理主義

浅野光紀君（文学部非常勤講師）

講演

カント法哲学における立法と自由

石田京子君（文学部助教）

言語を、そして世界をとりもどすこと、あるいは治療すること

—ウイトゲンシュタイン哲学の目的と方法—

荒畑靖宏君（文学部准教授）

〈2014年度三田哲学会講演会（主催・共催）記録〉

- ◆ 2014年4月25日16:00～18:30, 26日9:00～18:00, 27日9:00～18:00
国際学会「プラトンとレトリック」(Plato and Rhetoric)（主催：科研費補助
金基盤研究(B)代表：納富信留，共催：国際プラトン学会(International
Plato Society)，三田哲学会)
日吉キャンパス 来往舎 シンポジウムスペース，大会議室
担当 納富信留（文学部教授）

- ◆ 2014年4月28日16:30～18:30
講演会
東館 G-SEC Lab
Professor Nicholas D. Smith (Lewis & Clark College, USA)
“How Testimony Can Be a Source of Knowledge.”
担当 納富信留（文学部教授）

- ◆ 2014年5月22日18:15～20:30
講演会
南校舎 475教室
青柳健一（株式会社 LOUPE, SENSEINOTE 共同設立者）
「『働くこと』の意味—ある起業家のライフストーリーから—」
担当 鈴木正崇（文学部教授）

- ◆ 2014年6月20日（金）16:40～18:50
講演会
東館4階セミナー室
Professor John Glucker（イスラエル，テルアビブ大学）
“Cicero as Translator and Cicero in Translation.”
担当 納富信留（文学部教授）

- ◆ 2014年7月7日17:30～19:30
講演会
東館4階セミナー室

Jonathan L. Katz 博士 (Drexel 大学・アメリカ国立薬物乱用研究所)
“What is the Place of Behavior Analysis with Neuroscience in Ascendancy?”
担当 伊澤栄一 (文学部准教授)

◆ 2014 年 7 月 12 日 10:00 ~ 18:00
国際シンポジウム「医療・科学・テクノロジー：人類学と人間科学複合領域の対話」(主催：慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター，共催：三田哲学会)
東館 G-SEC Lab
担当 北中淳子 (文学部准教授)

◆ 2014 年 7 月 15 日 18:15 ~ 20:30
講演会
西校舎：525-B 教室
小林宏至 (日本学術振興会特別研究員・東京学芸大学非常勤講師)
「〈複製〉から〈分裂〉へ—中国福建省・客家土楼からみる宗族の形成過程」
担当 鈴木正崇 (文学部教授)

◆ 2014 年 10 月 11 日・12 日
教育思想史学会第 24 回大会 (主催：教育思想史学会，共催：三田哲学会)
三田キャンパス
担当 松浦良充 (文学部教授)

◆ 2014 年 10 月 18 日 14:30 ~ 17:30
シンポジウム「スピノザ哲学の生成とその諸問題—実在・本質・原因性をめぐって—」(共催：三田哲学会)
南校舎 465 教室
秋保 亘 (慶應義塾大学)：
「本質・実在・生—『知性改善論』から『エチカ』へ」
藤井千佳世 (日本学術振興会特別研究 RPD・東京大学)：
「スピノザ思想生成史における『知性改善論』の位置づけ—個物の実在をめぐって」
井上 一紀 (日本学術振興会特別研究 DC・東京大学)：
「原因と実在の間隙—『エチカ』による改変の諸問題」
コメンテーター：
鈴木 泉 (東京大学)
山内志朗 (慶應義塾大学)
斎藤慶典 (慶應義塾大学)
担当 斎藤慶典 (文学部教授)

◆ 2014 年 10 月 28 日 18:15 ~ 20:30
講演会
大学院校舎 356 教室
矢澤達宏 (上智大学外国語学部准教授)
「黒人活動家たちにとってのメディア—20 世紀前半のブラジルにおける黒

人新聞」

コメントーター：田中正隆（高千穂大学人間科学部准教授）
担当 鈴木正崇（文学部教授）

- ◆ 2014年10月31日 18:15～19:45
講演会
南校舎 475 教室
黒鳥英俊（上野動物園嘱託員，京都大学野生動物研究センター）
「動物園に行こう：これからの動物園と野生動物の保全をめぐる」
担当 坂上貴之（文学部教授），伊澤栄一（文学部准教授）

- ◆ 2014年12月2日 18:15～20:30
講演会
南校舎 413 教室
夏目深雪（映画評論家，著述業）
「アジア映画の中の日本兵—その表象の変遷と国による変化—」
担当 鈴木正崇（文学部教授）

- ◆ 2014年12月26日 18:15～20:30
講演会
大学院校舎 356 教室
櫻田涼子（育英短期大学准教授）
「〈過去〉にアイデンティティを見いだす—マレー半島華人社会の珈琲カルチャーとレトロブームの展開」
担当 鈴木正崇（文学部教授）

- ◆ 2015年2月4日 18:15～20:30
講演会
大学院校舎 312 教室
俵木 悟（成城大学文芸学部准教授）
「無形文化遺産からみる〈世界〉と〈地元〉の関係」
担当 鈴木正崇（文学部教授）

- ◆ 2015年3月14日-15日
研究会「第13回フッサール研究会」・シンポジウム「情動の哲学と現象学的感情論」（共催：三田哲学会）
第1校舎 102 教室
担当 斎藤慶典（文学部教授）

- ◆ 2015年3月17日 13:30～17:00
講演会（主催：一般社団法人 社会調査協会，共催：三田哲学会）
北館3階大会議室
樋口耕一（立命館大学産業社会学部准教授）
「計量テキスト分析への招待」
担当 稲葉昭英（文学部教授）